

あきた未来創造部

総務企画委員会

【議案関係資料】

5月26日提出

令和7年第1回定例会（6月議会）予算及び付託議案審査関係資料

令和7年5月26日
あきた未来創造部

【予算関係】

<高等教育支援室>

高大連携充実に向けたシンポジウム事業について . . . 3

<移住・定住促進課>

若者の県内定着・回帰総合支援事業について . . . 4

あきた未来世代移住戦略推進事業について . . . 6

新しい働き方による人の流れ促進事業について . . . 7

<次世代・女性活躍支援課>

結婚の希望をかなえる気運醸成事業について . . . 8

「あきたとも家事」推進事業について . . . 10

<地域づくり推進課>

時代の環境変化に対応した地域運営組織等応援事業について . . . 12

過疎地域等における人材確保支援事業について . . . 14

秋田県ゆとり生活創造センター管理運営費に係る債務負担行為の設定について . . . 15

高大連携充実に向けたシンポジウム事業について（新規）

高等教育支援室

1 目 的

少子化等により、高校や大学を取り巻く環境が厳しい中、高校・大学双方の魅力向上を図ることが必要であり、そのための手段の一つである高大連携について、シンポジウムを開催し、関心を高め、効果的な連携手法を探る。

※高大連携：高校と大学の連携による、高校教育及び大学教育の改善充実に資する取組

2 内 容

高大連携に関する基調講演、他県や県内における事例発表、意見交換 等

- ・開催時期 令和8年1月～2月頃
- ・会 場 秋田駅周辺施設
- ・参加者 教育関係者等（100名程度）

3 予算額

2,000千円（ $\ominus$ 2,000千円）

〔委託料 2,000千円〕

（委託料の内訳）

企画運営費	1,692千円
オンライン配信費等	308千円

若者の県内定着・回帰総合支援事業について

移住・定住促進課

1 目的

高校や地域振興局との連携を通じた高校生への多様な県内企業紹介メニューの提供や大学生等と県内企業との就職マッチングの創出、県内就職情報の発信等により、若者の県内定着・回帰を促進する。

2 内容

(1) 高校生県内就職率UP事業

①高校1年生を対象とした取組

- ・(就職希望者の多い高校) 県内企業の事業所見学や学校内での企業説明会の開催
- ・(進学希望者の多い高校) 企業経営者や起業家による講話のほか、県内就職した母校卒業者による社員のキャリア紹介トークの開催

②高校2年生を対象とした取組

- ・県内企業等の情報を幅広く収集できる地域振興局単位での企業説明会の開催

(2) 地方就職学生支援事業(※)

- ・東京圏(東京・埼玉・千葉・神奈川)に居住し、都内に本部を置く大学等に通う大学・大学院生が県内企業に就職した際の移転費(引越代)の支援

(3) 秋田とつながる就活応援事業

①SNS等を活用した秋田暮らしの魅力発信

- ・県就活情報サイト「こっちゃけ!」の登録者に対するメルマガの配信及び公式SNS等での取材記事の発信

※ 移転費(引越代)支援の概要

《支援額》

上限額 108千円

《負担割合》

国 1/2、県 1/4、市町村 1/4

②秋田とつながる交流会等の開催

- ・大学生等を対象とした県内就職への興味・関心を高めるための県内交流会の開催
- ・協定締結大学等を会場に県内で活躍する若手社会人と大学生等が交流する「交流カフェ」の開催

3 予算額

32,812千円（国6,750千円、○26,062千円）

国:新しい地方経済・生活環境創生交付金

(1)	高校生県内就職率UP事業	14,124千円	(○14,124千円)
	報償費	610千円	
	需用費等	714千円	
	使用料	12,800千円	
(2)	地方就職学生支援事業	10,125千円	(国6,750千円、○3,375千円)
	補助金	10,125千円	
(3)	秋田とつながる就活応援事業	8,563千円	(○8,563千円)
	旅費等	1,023千円	
	委託料	7,540千円	

(委託料の内訳)

・こっちゃけ登録者等への情報発信	2,367千円
情報発信取材及び記事作成費	1,350千円
インフルエンサーによる発信依頼料、人件費	1,017千円
・こっちゃけ！秋田とつながる交流会開催	3,275千円
ステージイベント費（著名人出演）	1,000千円
会場運営費（飲食提供等）、イベントPR費等	2,275千円
・こっちゃけ交流カフェ開催事業業務委託	1,898千円
司会者及び参加者出演費・交通費	975千円
会場運営費等	923千円

あきた未来世代移住戦略推進事業について（新規）

移住・定住促進課

1 目的

首都圏に在住する本県出身の若者や子育て世帯を対象とした交流会を通じて、移住に関する潜在的なニーズを掘り起こし、移住者の増加に向けた取組を推進する。

2 内容

(1) 子育て世帯移住潜在層発掘事業

ランチ会等の開催により、秋田の豊かな食を楽しみながら、魅力的な生活環境等をPRし、本県への移住を検討するきっかけを提供する。併せて、移住に関する潜在的なニーズを把握するヒアリング及びアンケート調査を実施し、今後の効果的な移住戦略の検討につなげる。

- ・会場 あきた美彩館等
- ・開催時期 令和7年7月～令和8年2月（予定）
- ・開催回数 8回（月1回程度）

3 予算額

9,208千円（ $\ominus$ 9,208千円）

職員旅費等	823千円
委託料	8,384千円

（委託料の内訳）

- ・企画運営費 4,618千円
- ・参加者募集、PR費 3,157千円
- ・託児費等 609千円

新しい働き方による人の流れ促進事業について

移住・定住促進課

1 目的

首都圏等からのリモートワーク移住を促進するため、企業やその社員に対するプロモーションを展開するとともに、県内での受入体制の構築を図り、市町村と連携したきめ細かな支援を行う。

2 内容

(1) 多様な人材の移住受入体制構築事業

企業とモデル市町村や地域のキーパーソンとの連絡・調整を行うほか、企業向け移住体験プログラムのコーディネート等を実施し、地域における受入体制を構築する。

① リモートワーク移住コーディネートの実施

- ・企業と受入自治体とのマッチング支援や体験プログラムの企画・調整等のサポートの実施

② 人材交流イベントの開催

- ・企業と県内キーパーソン等との交流イベントやリモートワーク移住者による交流会の開催

③ WEB・SNSを活用した情報発信

- ・先輩リモートワーク移住者のインタビュー記事の制作、WEB等での発信

3 予算額

7, 865 千円 (○ 7, 865 千円)

〔 委託料	7, 865 千円 〕
-------	-------------

(委託料の内訳)

- | | |
|----------------|-----------|
| ・ コーディネート経費 | 2, 953 千円 |
| ・ 人材交流イベントへの出展 | 3, 267 千円 |
| ・ WEB・SNS 広告 | 1, 645 千円 |

結婚の希望をかなえる気運醸成事業について

次世代・女性活躍支援課

1 目的

小学生から大学生、若年社会人などの将来の親世代が、結婚や出産への希望を実現するため、自身のライフプラン等を学び考える機会を提供するとともに、県全体で結婚や子育てを応援する気運の醸成を図る。

2 内容

(1) ライフプランニング学習推進事業

小学生、中学生、高校生の各段階に応じて、結婚や家庭を持つことの意義や男女共同参画等について学び考えるための副読本を作成・配布する。

- ・作成部数 小学6年生用 8,000部 中学3年生用 8,500部 高校1年生用 9,000部
- ・配布先 県内国公立・私立学校（特別支援学校各部生を含む。）

(2) 大学生・社会人ライフプランニング支援事業

これから結婚・出産・子育てなどのライフイベントを経験する若年社会人を対象に、将来の選択に関わる知識を学ぶ機会を新たに提供し、ライフプランを考える意識を高める。

①啓発リーフレットの改訂（作成部数 10,000部）

②若年社会人向けライフデザインセミナーの開催

- ・対象者 概ね20～25歳の社会人
- ・実施回数 3回（県北・中央・県南各1回を想定）
- ・内容 ライフデザインに関する講義、ライフプランを考えるワークショップ

(3) 結婚支援施策の周知広報事業

結婚を希望する従業員に対して企業自らが行う支援を促進するため、これまでのSNSによる情報発信に加え、新たに支援方法等をまとめたリーフレット(500部)を作成し、県内企業へ周知する。

3 予算額

7, 336千円 (国 3, 943千円、国 3, 197千円、国 196千円)

国：地域少子化対策重点推進交付金 国：少子化対策基金繰入金

(1) ライフプランニング学習推進事業	1, 947千円 (国 1, 947千円)
〔委託料	1, 947千円〕
(委託料の内訳)	
・印刷製本費	1, 220千円
・送料等	727千円
(2) 大学生・社会人ライフプランニング支援事業	4, 998千円 (国 3, 748千円、国 1, 250千円)
〔委託料	4, 998千円〕
(委託料の内訳)	
・リーフレット制作費	2, 760千円
・セミナー開催費等	2, 238千円
(3) 結婚支援施策の周知広報事業	391千円 (国 195千円、国 196千円)
〔委託料	391千円〕
(委託料の内訳)	
・リーフレット制作費等	391千円

「あきたとも家事」推進事業について（新規）

次世代・女性活躍支援課

1 目的

誰もが家族やパートナーと家事を分担し、主体的に取り組む「とも家事」を官民一体で推進し、女性に偏りがちな家事時間の削減や男性の育児休業取得率の向上を図る。

2 内容

（１）「あきたとも家事」普及啓発事業

① SNS 等を活用した広報

「とも家事」を推進するため、啓発動画や県内企業の実践などを広く発信する。

- ・ SNS 配信動画の作成（２本：企業編、家庭編）
- ・ 公式ウェブサイト「あきた女性の活躍応援ネット」の改修（「とも家事」特設ページの増設）
- ・ 公式ウェブサイト・SNS へ誘導するための SNS 広告の配信等

② 企業の実践情報の発信

「とも家事」を応援・推進する企業の好事例等を県内情報誌に掲載するほか、効果的な情報発信を行うための講座を開催する。

- | | |
|----------------------|---------|
| ・ 県内情報誌等への掲載 | ２ページ×３回 |
| ・ 県内企業向け SNS 情報発信講習会 | ３回 |

3 予算額

9, 1 7 2 千円 (⊖9, 1 7 2 千円)

報償費	1 0 千円
旅費等	2 1 4 千円
委託料	8, 9 4 8 千円

(委託料の内訳)

- ・ S N S 等による広報 5, 6 6 5 千円
 - 啓発動画作成 3, 5 4 8 千円
 - S N S 誘導広告 1, 7 0 5 千円
 - 啓発グッズ作成 4 1 2 千円
- ・ 公式ウェブサイト改修 5 1 5 千円
- ・ 企業の取組情報発信 2, 7 6 8 千円
 - 情報誌掲載料 2, 5 4 8 千円
 - S N S 情報発信講習会 2 2 0 千円

時代の環境変化に対応した地域運営組織等応援事業について

地域づくり推進課

1 目的

人口減少や高齢化が進む中、地域コミュニティの維持・活性化を図るため、地域運営組織の形成等を促進する。

2 内容

(1) 地域コミュニティを支える人材等応援事業

専門のコーディネーター（都道府県過疎地域等政策支援員）を配置し、地域運営組織（RMO）の形成・拡大に向けた伴走支援や人材育成を行う。

①伴走支援

- ・市町村訪問を通じたRMOの普及
- ・RMOの形成等に向けた市町村への支援
（実施地区：潟上市天王湖岸地区、湯沢市幡野地区）

②人材育成

- ・中間支援者の確保・育成に向けた研修会の開催
（対象者：市町村職員等）

都道府県過疎地域等政策支援員

過疎地域等を有する市町村の施策（産業振興、集落の整備、特定地域づくり事業協同組合の設立の推進など）に係る企画立案、指導・助言等の業務に従事する者

地域運営組織（RMO：Region Management Organization の略）

地域の暮らしを守るため、地域住民が中心となって形成され、様々な関係主体が参加する協議組織が定めた指針に基づき、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織

(2) ふるさとミライカレッジ推進事業（新規）

地域が抱える課題解決に向けて、地域住民と県内外の大学生とが連携したプロジェクトを実施するとともに、両者が継続的に関係する体制の構築を図る。

- ・実施地域 五城目町、湯沢市
- ・協力予定大学 秋田大学、秋田県立大学、国際教養大学、宇都宮大学、慶應義塾大学

3 予算額

11,355千円（○11,355千円）

(1) 地域コミュニティを支える人材等応援事業

2,142千円（○2,142千円）

旅費・需用費等	282千円
委託料	1,860千円
(委託料の内訳)	
・コーディネーター人件費等	1,267千円
・伴走支援に要する経費	352千円
・人材育成に要する経費	241千円

(2) ふるさとミライカレッジ推進事業

9,213千円（○9,213千円）

旅費・役務費等	4,846千円
委託料	4,367千円
(委託料の内訳)	
・コーディネーター人件費等	2,250千円
・プロジェクトの実施に要する経費	2,117千円

過疎地域等における人材確保支援事業について（新規）

地域づくり推進課

1 目的

過疎地域等において、特定地域づくり事業協同組合の設立を促進し、地域の人材確保を図る。

2 内容

コーディネーター（都道府県過疎地域等政策支援員）を配置し、制度周知や組合設立等の支援を行う。

（1）制度の周知

- ・制度の活用事例を紹介する説明会の開催
- ・具体的な活用方法に関する個別相談の実施

（2）組合設立等の支援

- ・設立の主体となる事業者や市町村等への伴走支援（アドバイス、手続支援）
- ・課題解決に向けた社会保険労務士等の派遣

（3）委託先

秋田県中小企業団体中央会

3 予算額

3, 6 7 3 千円（ $\ominus$ 3, 6 7 3 千円）

旅費・需用費等	7 8 千円
委託料	3, 5 9 5 千円
（委託料の内訳）	
・コーディネーター人件費等	1, 7 3 1 千円
・制度周知に要する経費	3 6 9 千円
・組合設立等支援に要する経費	1, 4 9 5 千円

特定地域づくり事業協同組合

過疎地域等において、雇用した職員をマルチワーカー（季節ごとの労働需要等に応じて複数の事業者の業務に従事する労働者）として派遣するため、4 者以上の事業者が組合員となって設立する協同組合

秋田県ゆとり生活創造センター管理運営費に係る 債務負担行為の設定について

地域づくり推進課

1 債務負担行為を設定する施設及び期間

- (1) 施設名称 秋田県ゆとり生活創造センター（遊学舎）
- (2) 指定管理期間 令和8年4月1日から令和13年3月31日まで（5年間）

2 指定管理者の業務

- (1) 使用の許可、使用の許可の取消し並びに使用の制限及び停止に関する業務
- (2) 施設及び設備の維持管理に関する業務
- (3) 自由時間を利用した活動及び自主的な社会貢献活動に対する支援に関する業務
- (4) その他センターの管理に関し知事が必要と認める業務

3 指定管理者の選定方法

公募を行い、選定委員会で候補者を選定した上で、議会の議決を経て指定する。

4 指定管理者の選定等に係るスケジュール（予定）

令和7年	6月	6月県議会で債務負担行為設定	令和8年	2月	2月県議会に予算案計上
	7月	指定管理者（候補者）公募		3月	基本協定締結
	10月	指定管理者（候補者）選定		4月	指定管理開始
	12月	12月県議会で指定管理者指定			

5 債務負担行為の設定

- (1) 事項 秋田県ゆとり生活創造センター管理運営費
- (2) 期間 令和8年度から令和12年度まで（5年間）
- (3) 限度額 374,585千円
(Ⓢ35,352千円 Ⓢ7,420千円 ⊖331,813千円)

【参 考】

「秋田県ゆとり生活創造センター（遊学舎）」の概要

1 設置目的

自由時間を利用した活動及びボランティア活動をはじめとする自主的な社会貢献活動を行う団体等に対し、これらの活動に関する情報及び研修の機会を提供するとともに、これらの団体等の交流その他の活動を支援し、もってゆとりのある県民生活の実現に寄与する。

2 所在地

秋田市上北手荒巻字堺切24－2

3 施設概要

【開設】平成14年11月23日

【敷地面積】16,941.63㎡【延べ床面積】3,521.60㎡ 木造平屋（一部RC）

【主な施設】

- ・管理棟：事務室、NPO情報・相談コーナー、研修室1・2・3、幼児ルーム、ミーティングコーナー、図書・情報コーナー
- ・工房棟：多目的工房（木工、園芸等作業スペース）
- ・交流棟：研修室4・5、食工房、県民ギャラリー、食堂
- ・会議棟：会議室、エントランスホール
- ・昭和館：移築民家、蔵（研修室6）